

医療法人陽心会プレゼンツ ヘルシーセッション

日本で蓄積されてきたリハビリテーション医療を、アジア各国の事情に合わせて提案する。



白倉 賢二 しらくら けんじ

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 群馬県済生会前橋病院
リハビリテーションセンター長、群馬大学名誉教授
1950年、埼玉県生まれ。75年に群馬大学医学部を卒業後、同整形外科教室に入局。2002年より群馬大学医学部リハビリテーション医学教授に就任し、15年に退官。同年4月より現職。

「日本が試行錯誤を重ねて作り上げてきたリハビリテーションの技術を、アジアの人たちに活用してもらおう」という医療法人陽心会の取り組みが進んでいます。今回は、その推進会議の三浦公嗣委員長と白倉賢二顧問によるリハビリテーションについてのセッションをお届けします。

オーケストラの指揮者のようなりハビリ専門医

三浦 現在、政府の海外支援事業の一環で医療法人陽心会が中心となって進めている「アジア生活リハビリ研修センター」構想推

進研究会」において、リハビリテーションの専門医は中核的な人材として重要です。この事業はASEAN諸国に日本の優れたリハビリテーション医療を提供しようというものです。まずは専門医の白倉先生にリハビリテーションというものについて基本的なことから説明いただきたいと思いま

す。白倉 近代医療では、リハビリテーション医療は大きく3つの段階に区分けされています。まず病気で入院さ

れた患者さんが立ち上がって歩くことから始まる基本動作を対象とした「理学療法」、次に衣服の着脱や排尿排便などの応用動作を対象とした「作業療法」、そして嚥下動作や言語を通じたコミュニケーションを行うような高次脳機能を対象とした「言語聴覚

療法」。いずれも医師、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、看護師、栄養士、ソーシャルワーカーなどが加わり、チーム医療として行っています。

三浦 現在の日本において、白倉先生のようなリハビリテーション科の教授は本当に少なく、特に国立大学では現在ごく少数の大学しか専門の講座を設けていません。整形外科の一部としてリハビリテーションを行っている例が数多く見られます。

白倉 三浦先生がおっしゃるように、国公立・私立を含めた約80ある医科大学のうち、リハビリテーション科の独立した講座が開設されているのはおよそ4分の1に当たる20大学しかありません。それ以外の大学では、それぞれの診療科がリハビリテーションの講座を担っています。大学で講座を持つということは、その分野で自分たちの医学博士を養成することのみならず、大学の組織の中で発言権を持つということにおいても重要です。平成29年度から開始した「新専門医制度」では、基本となる19科の基本領域のひとつにリハビリテーション科が挙げられました。このことは今後の医学教育に変化をもたらすと同時に、リハビリテーション医療の認識を高めるものになるでしょう。そういう意味ではこれからの専

門分野といえます。

三浦 リハビリテーションの専門医を現場で支えるPT、OT、STなどの各療法師の実力もどんどん上がってきていると思いますが、いかがですか。

白倉 そうですね。現場の各療法師は経験的にいろいろなものを取得していますので、とても力強く思っています。リハビリテーションの現場では、看護師、療法師、栄養士などのスタッフがそれぞれの立場から患者さんの1日も早い社会復帰を考えて取り組んでいます。それを基にして、私たち専門医は患者さんの状態を評価してそれぞれの目標を設定している訳です。

三浦 目標の設定は専門医としての役割ということですね。それに沿ってスタッフが一生懸命リハビリテーションを行い、目標を達成できたかどうかを医師が確認すると。いわばオーケストラでいうところの指揮者のようなものですね。

患者の社会復帰を手仕事でサポートするアジアの国々

三浦 群馬大学では多くの海外研修生が学んでいるそうですね。

白倉 はい、理学療法学専攻ではモンゴルやインドネシアといったアジアの国々から多

くの学生がリハビリテーションを学んでいます。皆さんすごく熱心で、中にはわが子を本国に残して研究に来ている学生もいます。彼の地は日本に比べて技術が遅れていますから、多くのものを貪欲に学びたがっているんです。

三浦 今回のプロジェクトで、今年1月から2月にかけて私を含めた5名の調査メンバーでインドネシア、ベトナム、フィリピンの3カ国の病院や行政機関を訪問してきました。インドネシアでは白倉先生の教え子であるイルマ先生という素晴らしい方にもお会いすることができました。あちらは特に医療に掛ける予算も少ないのですが、日本の経験が活かせると思います。そのような状況の中で、医療に従事している人たちは患者さんの社会復帰に向けたサポートを、手仕事でやっているという印象を受けました。

白倉 イルマ先生はとても優秀な方ですので、

ぜひ頑張つてほしいですね。先ほど話しましたが、インドネシアもリハビリテーションに関してはまだまだ発展途上です。本来、リハビリテーションというのは医療の基礎的な部分でもありますので、医療人であれば誰でも取り組まなければいけない分野です。それを専門性を持つてしっかりとやっているのは、世界を見回してもそんなにはありません。そういう意味では日本も発展途上の段階ではありますが、それに蓄積されたものをアジアの方々に提供できるのなら、とても素晴らしいことだと思います。

栄養をベースに進める斬新なりハビリテーション

三浦 白倉先生がおっしゃるように、日本でもなかなかリハビリテーションの専門医が育っていません。それでも日本がいろいろな迷いながらチャレンジして作り上げてきた

リテーションも効果が上がりますので、大変重要な部分であると思います。大学病院のリハビリテーションはほとんどが急性期ですが、最近ではそこでもきちんと栄養を摂ることの重要性がいわれています。ICU集中治療室においても「まずはごはんをしっかりと食べてもらおう」と。その後の経過がまったく違うんですね。その意味においても、この研究会がまず栄養から入っていくという点において斬新だと思います。

三浦 確かに急性期でしっかりと栄養をつけておかないと、次の段階である慢性期にしろ寄せが来ることになります。

白倉 また今回、当地において提案するリハビリテーション医療は日本における維持期のリハビリテーション医療のようなもので、各国の事情に合わせたものになります。各国のリハビリテーション関連職の日本に対する期待は、高度で高額な医療活動、医療技術に対するものが大きいでしょう。現実には当地でもリハビリテーションは活発に行われていますが、日本における医療活動の技術とシステムを伝えて「医療職の育成」「医学教育の支援」「啓発活動」を行うことは、各国医療の現場に即応したものだといえます。当地に与えるメリットは大きなものになると思いますよ。今回の提案はアジア向けとなっていますが、本当は日本のリハビリテーションもこうしなければいけないのではないかとこの提案かもしれませんね。

三浦 本日はありがとうございました。白倉 こちらこそありがとうございました。



三浦 公嗣 みうら こうじ

慶應義塾大学病院臨床研究推進センター・臨床研究支援部門長
1957年、東京都生まれ。83年に厚生省（当時）に入省。介護保険制度の施行まで約3年間にわたり施行準備に携わる。2016年6月まで厚生労働省老健局長。同年10月より現職。

白倉 おっしゃるとおりですね。しっかりと栄養を摂つてこそリハビ

 医療法人 陽心会 理事長 高良 健 大道中央病院 那覇市安里1-1-37 TEL.098-869-0005 (代) リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050 メディカルプラザ大道中央 那覇市字大道123 TEL.098-886-0007 (代) 一般内科学部 TEL.098-886-0115 循環器部 TEL.098-886-5141 糖尿病部 TEL.098-886-0115 人工透析部 TEL.098-886-5151 検診部門 TEL.098-886-5678 介護老人保健施設 やすらぎの里 那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030 グループホーム たかまーみの家 那覇市字大道94-3 TEL.098-887-0081 小規模多機能型ホーム 大道 那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0018 グループホーム 大道が丘 那覇市字大道94-3 TEL.098-885-0036 小規模多機能型ホーム 三原 那覇市三原2-8-10 TEL.098-840-0027 訪問看護ステーション 陽心会 那覇市安里64-9-1F TEL.098-860-1270 那覇市地域包括支援センター 若狭 那覇市若狭2-1-10 TEL.098-863-1165	 社会福祉法人 陽風会 理事長 高良 健 (提携) 有料老人ホーム 大道中央 那覇市字大道127 TEL.098-886-0061 (提携) デイサービスセンター 若狭 那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-6122 (提携) 有料老人ホーム 若狭 那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0087 (提携) 有料老人ホーム 若狭別館 那覇市若狭2-5-12 TEL.098-863-3320 (提携) 小規模多機能型ホーム 若狭 那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550 (提携) グループホーム 若狭の家 那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551 (提携) 小規模多機能型ホーム 辻 那覇市辻1-6-25 TEL.098-951-0070 (提携) 在宅総合ケアセンター 大道 那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030 (訪問介護事業所) 那覇市字大道128 TEL.098-885-0033 那覇市地域包括支援センター 新都心 那覇市銘苅1-6-15 TEL.098-941-2252 那覇市地域包括支援センター かなぐすく 那覇市鏡原町1-68 TEL.098-852-0777 (提携) 福祉用具貸与・販売事業所 那覇市若狭3-5-17 TEL.098-885-0100 (提携) 有料老人ホーム 健寿の杜 那覇市若狭3-1-47 TEL.098-941-0070 (提携) 有料老人ホーム 松風邸 那覇市若狭2-10-14 TEL.098-869-8557 (提携) ヒルズガーデン那覇 那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300 (提携) デイサービスセンター 松川 那覇市字松川20-1 TEL.098-885-0300 (提携) デイサービスセンター 若狭海岸 那覇市若狭1-21-1 TEL.098-941-0110 (提携) デイサービスセンター 大道 那覇市字大道127 TEL.098-886-0066	 ケアハウス 常夏の島 那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036 小規模多機能型ホーム 牧志 那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0025 有料老人ホーム 星の館 那覇市安里1-1-17 TEL.098-917-1262 特別養護老人ホーム 前島 那覇市前島2-18-17 TEL.098-894-8039 (提携) 那覇市末吉老人福祉センター 那覇市首里末吉町2-14 TEL.098-886-3510 (提携) 那覇市壺川老人福祉センター 那覇市壺川2-3-11 TEL.098-853-1139 (提携) 那覇市辻老人憩の家 那覇市辻2-14-1 TEL.098-864-0580 (提携) 有料老人ホーム 三原の家 那覇市三原1-26-40 TEL.098-832-5981 (提携) 有料老人ホーム 牧志 那覇市牧志2-9-43 TEL.098-862-1331 (提携) 有料老人ホーム 西町 那覇市西1-20-19 TEL.098-863-7884 (提携) デイサービスセンター リバーサイド 那覇市安里1-1-18-3F TEL.098-862-1501
---	---	---